



XF フォーマット仕様書

V 2.03

2000年11月22日

ヤマハ株式会社

改訂履歴

V1.00	1995/10/19	初版	
V1.01	1995/11/06	1) 互換性 (Compatibility) の説明文を修正	P3
V1.10	1996/07/26	二訂版 将来の仕様の為に "{" 補助テキストを削除 将来の仕様の為に "-" ハイフンを削除 将来の仕様の為に "_" アンダースコアを削除	P17 P17 P17
V1.11	1996/12/26	ガイドライン作成にあたり、見直し	
V1.12	1997/11/10	Information Header Vocal Type の誤植修正	P10
V2.00	1998/07/01	XF Version ID 改訂 Information Header XF Keyword 追加 Information Header Beat 改訂 Lyric Meta-Event を AMEI/MMA 規定に準拠 新メッセージ Style Message 追加	
V2.02	1999/04/26	Information Header Beat 改訂 Information Header XF Keyword 改訂 Lyric Meta Event 改訂 XF Karaoke Message 改訂 フレーズマークレベルのガイドライン改訂 Information flag for Gt 改訂 Fingering Number 改訂	
V2.03	2000/11/22	Chord Voicing for Gt を追加 Fingering Number と Information flag for Gt の文字、書式の見直し	

目次

§ 1	フォーマット概要	1
§ 2	仕様	4
1	トラックチャンク冒頭の内容	4
2	XF Information Header XFインフォメーションヘッダー	8
3	XF Karaoke Message XFカラオケメッセージ	13
4	Lyric Meta-Event (歌詞メタイベント)	19
5	Style Message スタイルメッセージ	22
Appendix A	文字コードについて	28
Appendix B	制作地記号について	29
Appendix C	曲のジャンルについて	31
Appendix D	曲のキーワードについて	32

§ 1 フォーマット概要

ヤマハは、本格的なマルチメディア時代に向けて、MIDI シーケンスデータに関する新フォーマット「XFフォーマット」を開発しました。これは、MIDI の RP-001 (Recommended Practice) として規定されている「スタンダード MIDI ファイル」(SMF) をより拡張し、時代とともに複雑化高度化していくコンピュータ周辺環境にも対応させ、MIDI の圧縮性・インタラクティブ性をより効果的に利用し、データの継続性を可能にする、新しいファイルフォーマットです。

ヤマハでは、今後この「XFフォーマット」を利用した電子楽器やソフトなどを開発、販売を行いヤマハモデル間でのデータの互換性または適応性の維持に努めます。

<開発の背景>

MIDI は楽器だけにとどまらず、通信・コンピュータ・ゲーム機など様々な分野で使われています。MIDI で曲を編集したり、再生したりするためにはシーケンサーが必要です。ところが、シーケンサーのファイルフォーマットにメーカーや機種による違いがあるため、楽曲データを相互利用することができませんでした。1988年に米国の MMA (MIDI Manufacturers Association) に、シーケンサーのファイルフォーマットの統一を目的として「スタンダード MIDI ファイル」(SMF) が提案され、1991年に MIDI 協議会は、この SMF を RP (Recommended Practice)、MIDI の推奨応用例として追加制定しました。これにより SMF に対応したシーケンサー間ではファイルの相互利用ができるようになり、MIDI の利便性は著しく向上、SMF 対応の各種ソフトも増加しています。その一方で SMF は、MIDI データの再生を主眼としているため、最低限の規定しかなく、歌詞情報や楽譜情報などについての詳細が規定されていません。このため、様々な用途へ対応するためにこれを拡張する要求が高まっています。

コンピュータを中心としたマルチメディアでは、音と映像が注目を集めています。映像の分野で画像圧縮などの技術が進んでいるのと同様、マルチメディアにおける音や音楽の処理方法としてさまざまな技術が開発されています。現在では、ソフト側に実際の音や演奏をデジタル録音したデータを持ち、随時再生する方式と、ソフト側からは演奏データのみを供給し、コンピュータ側に装備した音源を発音させる方式とがあります。前者はリアルではあるものの、データ容量を非常に多く必要とし、演奏や音色などを自由に変更することができません。後者はデータ容量が少なく、また後から音色やテンポなどを自由にかえられるため、繰り返しの多いゲーム音楽やカラオケなどインタラクティブなマルチメディアで有効な方式とされ、MIDI によるものはその代表例と言えます。このような背景のもとに、互換性の高い、より拡張されたシーケンサーのファイルフォーマットが望まれています。このような要求に対応するために、当社では次世代のシーケンサーファイルフォーマットとして「XFフォーマット」を提唱するものです。

<基本思想>

「XFフォーマット」は、SMF の持つ汎用性、互換性といった優れた特長を包含し、より豊かな表現力と柔軟な適応性、データの継続性を付加した新フォーマットです。

「XFフォーマット」では、

- ・ 曲の特徴 / 属性を記述した "XF Information Header" (XF インフォメーションヘッダー) を規定することにより、曲データの検索 / 分類ができます。
- ・ SMF では詳細が規定されていない歌詞情報用のメタイベント "Lyric Meta-Event" (歌詞メタイベント) を明確に規定することにより、カラオケに対応できます。
-- TUNE1000 Corp.社 (カナダ) の Standard Midi Files with Lyrics 仕様と互換
- ・ カラオケ等のテロップ表示をターゲットにした専用のテロップシーケンスデータ "XF Karaoke Message" (XF カラオケメッセージ) を追加することにより、カラオケに対応できます。
- ・ 将来は、サンプリングデータと MIDI のリンクを可能にするなどの拡張が期待されます。

「XFフォーマット」は以下の3つの基本構想からなっています。

- ・ 互換性 (Compatibility)
- ・ 適応性 (Scalability)
- ・ 拡張性 (Expandability)

1) 互換性 (Compatibility)

「XFフォーマット」対応の曲データは「XFフォーマット」対応のシーケンサーならば、相互に利用することができます。

2) 適応性 (Scalability)

「XFフォーマット」はSMFをベースにしているため、MIDIによる演奏データなどの基本部分はSMFで対応し、拡張部分についてはシーケンサーなどの処理系で自由に対応できます。

3) 拡張性 (Expandability)

「XFフォーマット」のフォーマット内容は、将来の製品開発とともに柔軟に拡張されます。

<SMFに対する拡張>

SMF規格から拡張しているのは以下の項目です。

- ・ 曲の特徴/属性を記述した "XF Information Header" (XFインフォメーションヘッダー) を規定、追加しています。
- ・ カラオケ等のテロップ表示をターゲットにした専用のテロップシーケンスデータ "XF Karaoke Message" (XFカラオケメッセージ) を、歌詞メタイベントとキューポイントメタイベントを使用して規定、追加しています。
- ・ コード、フレーズマーク、運指番号等のスタイルメッセージを Sequence-Specific Meta-Event で規定、追加しています。

<データの構成>

XFフォーマットのデータの構成は、SMFのデータ構成を基本としています。

XFフォーマットで新たに規定されるイベントは、SMFのメタイメントを使用しています。したがって、SMFのデータ構成のままでXFフォーマットの歌詞データやカラオケデータ等を持たせることができます。

さらに、追加的にいくつかのチャンクを規定しています。追加されたチャンクを用いることでデータの構成が機能的にすっきりします。

下記に追加されたチャンクの例を示します。

XFフォーマットデータファイルの構成

MThd.....	Header Chunk (SMF)
MTrk.....	Track Chunk (SMF)
..(information header).....	
....(karaoke).....	
.....(karaoke).....	
.....(karaoke).....	
.....	
XF IH....(information header).	XF Information Header Chunk
.....	
XF KM....(karaoke).....	XF Karaoke Message Chunk
.....(karaoke).....	
.....(karaoke).....	
.....	

XFインフォメーションヘッダーチャンクは、「XF IH」という記号から始まるひとかたまりのデータで、ここに楽曲の特徴/属性などの情報が入ります。

XFカラオケメッセージチャンクは、「XF KM」という記号から始まるひとかたまりのデータで、ここに歌詞・画面ワイプ情報などが入ります。

さらに、XFのチャンクを別のファイルに分けてしまうこともできます。

XFインフォメーションヘッダーチャンクをファイルにした場合は、「.XIH」という拡張子を使います。

XFカラオケメッセージチャンクをファイルにした場合は、「.XKM」という拡張子を使います。

§ 2 仕様

1.トラックチャンク冒頭の内容

- ・ SMF format 0 を使用する。
- ・ 以下の SMF 定義のメタイベントは、X F インフォメーションヘッダーの補助として使用する。

- 1) Song Name (Sequence/Track Name) 曲名
SMF 定義のメタイベント、Sequence/Track Name を使用
アルファベット表示の曲名
- 2) Meter (Time Signature) 拍子
SMF 定義のメタイベント、Time Signature を使用
SMF 定義の拍子
- 3) Tempo (Set Tempo) テンポ
SMF 定義のメタイベント、Set Tempo を使用
SMF 定義のテンポ

- ・ これらに加え、以下の X F フォーマット固有のデータを持つ。

- 4) XF Version ID X F バージョン I D
SMF 定義のメタイベント、Sequencer-Specific Meta-Event を使用
X F フォーマットのバージョンを示す I D
- 5) XF Lyrics Header X F 歌詞ヘッダー
SMF 定義のメタイベント、Cue Point を使用
以降の歌詞メタイベントについての情報

< Song Name (Sequence/Track Name) 曲名 >

- ・ 現行の楽曲データでは、SMF の Meta-Event -- Sequence/Track Name (シーケンス/トラック名) を用いて曲名が入れられていることが一般的である。X F フォーマットでは Meta-Event -- Sequence/Track Name (シーケンス/トラック名) を曲名として使用する。
- ・ 文字コードの属性を指定できないので、ASCII コードで記述する。(アルファベット表記となる)
- ・ SMF のトラックチャンク冒頭、delta-time=0 (1 : 1 : 0 のタイミング) に設定する。
- ・ 処理系には、少なくとも最初のキーオンイベントまではこのイベントをサーチすることを期待する。

```
FF 03 len <text>          Sequence/Track name
                          len:data length
```

例：

曲名「After Hours Club」

```
FF 03 10 41 66 74 65 72 20 48 6F 75 72 73 20 43 6C 75 62
```

曲名「君は僕の元気 (ローマ字表記で Kimi Wa Boku No Genki) 」

```
FF 03 15 4B 69 6D 69 20 57 61 20 42 6F 6B 75 20 4E 6F 20 47 65 6E 6B 69
```

< Meter (Time Signature) 拍子 >

- ・ SMF のトラックチャンク冒頭、delta-time=0 (1 : 1 : 0 のタイミング) に必ず初期値を設定する。
- ・ 処理系には、少なくとも最初のキーオンイベントまではこのイベントをサーチすることを期待する。

```
FF 58 04 nn dd cc bb      Time Signature
                           nn:numerator   分子
                           dd:denominator 分母が 2 の何乗にあたるかを表す。
                                       2 なら 4 分、 3 なら 8 分
                           cc:number of MIDI clocks in a metronome click
                                       メトロノーム 1 カウントあたりの、MIDI のタイミング
                                       クロック (24tpqn) 数。この例では 4 分音符ごとにメ
                                       トロノームが鳴ることになる。
                           bb:number of notated 32nd-notes in a MIDI quarter-note
                                       MIDI の 4 分音符が、記譜上 3 2 音符いくつに相当するか
                                       を表す。
```

例 :

4 / 4 拍子

FF 58 04 04 02 18 08

< Tempo (Set Tempo) テンポ >

- ・ SMF のトラックチャンク冒頭、delta-time=0 (1 : 1 : 0 のタイミング) に必ず初期値を設定する。
- ・ 処理系には、少なくとも最初のキーオンイベントまではこのイベントをサーチすることを期待する。

```
FF 51 03 tt tt tt      Set Tempo
                           tt tt tt:microseconds per MIDI quarter-note
                                       μ (マイクロ)秒 / MIDI 4 分音符
```

例 :

120bpm

FF 51 03 07 A1 20 60,000,000 μ 秒 / 120 = 500,000

 $(7 \times 256 \times 256) + ((10 \times 16 + 1) \times 256) + (2 \times 16) = 500,000$

< XF Version ID XFバージョンID >

- ・ 将来の拡張時の互換性維持のために、XFフォーマットのバージョンIDと、ステータスを記録する。
- ・ XFフォーマットとして必須である。
- ・ Sequencer-Specific Meta-Event の形式で設定する。
- ・ トラックチャンク冒頭、delta-time=0 (1 : 1 : 0 のタイミング) に入れる。
- ・ 処理系には、少なくとも最初のキーオンイベントまではこのイベントをサーチすることを期待する。

FF 7F 09 43 7B 00 58 46 30 32 s1 s0


```
'XF02' (58 46 30 32)   Version 2.0
s1,s0   Status         00000000 000kl0si
                        各 Bit に該当するデータ / チャンクの有(1)無(0)のフラグ
                        i: XF Information Header / XF Information Header Chunk
                        l: Lyric Meta-Event
                        k: XF Karaoke Message / XF Karaoke Message Chunk
                        s: XF Style Message
```

< XF Lyrics Header XF 歌詞ヘッダー >

- ・以降の歌詞メタイベント (FF 05 len <text>) が、XF フォーマットに準拠した歌詞イベントであること、メロディパートの MIDI チャンネル、歌詞表示のオフセット値、歌詞を記述するための文字コード体系、などが記される。
- ・ASCII で記述する。(アルファベット表記となる)
- ・Cue Point の形式で設定する。
- ・このイベントは、XF カラオケメッセージの一部である。
- ・トラックチャンク冒頭、delta-time=0 (1 : 1 : 0 のタイミング) に入れる。
- ・処理系には、少なくとも最初のキーオンイベントまではこのイベントをサーチすることを期待する。
- ・それぞれの情報項目は半角コロン ":" で区切る。

```
FF 07 len <text>
```

情報項目 (<text> 内容)

```
'$Lyrc'
  XF Lyrics Header ID   XF 歌詞ヘッダー ID
  XF Lyrics Header であることを示す ID
  以降の歌詞メタイベントが、XF フォーマットに準拠したものであることを示す。

'c,c,...'   c:MIDI Channel (decimal number as text)
            MIDI Channel on Melody Part   メロディパートの MIDI チャンネル
            複数指定してもよい。その場合、半角コンマ ",",  で区切る。
            メロディパートのオン/オフなどに利用する。

'o'         o:Offset Value (decimal number as text)
            Lyrics Display Offset Value   歌詞表示オフセット値
            歌詞表示をおこなうときに演奏のタイミングよりどれだけ先行させるかを示す。
            ヘッダーチャンクで指定された分解能 (タイムベース) による。
            処理系は、歌詞表示のワイプ処理などのタイミングを再生のタイミングよりも
            ここで指定されるクロック数だけ先行させなければならない。

'l'         l:Language
            Language   言語情報 (文字コード情報)
            歌詞に使用される文字コード体系を指定する情報。
            「Appendix A 文字コードについて」に示された記号を用いる。
            文字コード情報に記述された文字コードが扱えない場合は、歌詞メタイベントを
            表示しなくても良い。
```

例：メロディの MIDI チャンネルが 4ch と 12ch でオフセット値が 240/480 tpqn、歌詞の言語は日本語の場合の XF 歌詞ヘッダー

FF 07 len <\$Lyrc:4,12:240:JP>

2 . XF Information Header X F インフォメーションヘッダー

- ・ 曲の特徴 / 属性の情報をテキストメタイベントの形式で設定する。曲の検索 / 分類等に利用する。
 - ・ インフォメーションヘッダーは、次の 3 種類の方法で持つことができ、処理系で対応するようにする。
 - 1) トラックチャンク内に、メタイベントで設定。
 - 2) メタイベントの書式で、トラックチャンクの後に別チャンクで設定。
 チャンクタイプ : XF IH
 データ長指定部分 : 4byte
 <XF IH Event> = <delta-time> <Text Event>
 - 3) 上記 2) のチャンクを別ファイルにして設定。
 ファイルの中身は、2) のチャンクそのもの。
 DOS ファイル名のエクステンション : .XIH
 Mac ファイルのファイルタイプ : XF IH
- 複数あった場合は、上記の 3), 2), 1) の順に優先度が高いものとする。

< XF Information Header Event (X F インフォメーションヘッダーイベント) >

- ・ 曲の基本的属性を提供する。曲の検索が容易になるように項目を設定した。
- ・ トラックチャンク冒頭、delta-time=0 (1 : 1 : 0 のタイミング)、X F バージョン I D の直後に入れる。
- ・ Meta-Event -- Text Event の形式で設定する。
- ・ 共通ヘッダーは英語とし、言語別ヘッダーも設定する。必要に応じてどちらか片方あるいは複数を用いることとする。
- ・ 処理系は、片方しか無い場合あるいは複数ある場合について、それぞれ対応できるように考慮する必要がある。
- ・ それぞれの情報項目は、半角コロン ":" で区切り、列挙する。
- ・ 記述しない情報項目にはなにも入れない。(半角コロンが連続することになる)
- ・ 新規項目は、最後の項目以降に追加するものとし、処理系では半角コロンが見つからなくても、テキストがなくなったら、それ以降の情報項目はブランクとする。
- ・ XF Information Header -- Common X F インフォメーションヘッダー (共通)、
 XF Information Header -- Language Specific X F インフォメーションヘッダー (言語別)
 の二種類がある。

FF 01 len <text>

< XF Information Header -- Common XFインフォメーションヘッダー (共通) >

・ ASCII で記述する。(アルファベット表記となる)

情報項目

1) XF Information Header -- Common -- ID XFインフォメーションヘッダー (共通) ID
XF Information Header -- Common であることを示す ID (4文字) "XFhd"

2) Date 発表年月日

原曲が制作または発表された日付。

西暦で表し年月日は半角スラッシュ "/" で区切られる。

例: 1994/09/28

例: 1994// (年号のみ)

例: 1994/09/ (月まで)

3) Country 制作地

原曲が制作された国を表すもの。

「Appendix B 制作地記号について」に示された2文字の記号を用いる。

4) Category 曲のジャンル

原曲または楽曲データのジャンルをあらわす英文字。

複数記入するときは、スラッシュ "/" で区切る。

「Appendix C 曲のジャンルについて」に示された文字を用いる。

5) Beat リズムのビート

原曲または楽曲データのリズムのビートをあらわす英文字。

下記の中から選択。

2 Beat, 2 Beat(March),

3 Beat, Waltz, Waltz(Swing), Other 3/4,

4 Beat, 4 Beat(Swing), Other 4/4,

6 Beat, 12/8(6/8),

8 Beat,

12 Beat,

16 Beat,

24 Beat,

Shuffle(Bounce), Other(Even), Other(NonEven),

Others

6) Instrument on Melody part メロディパートの主な楽器

楽曲データのメロディパートを演奏する主な楽器のプログラムチェンジナンバー。

GM Sound Set (GM音色) 128のうちから選び、10進数で記述する。

1から128を用いる。(1-128)

7) Vocal Type 歌唱タイプ

原曲を演奏または歌唱している人の性別と編成。

下記の中から選択。

f1: Female Solo (女声独唱) (1は数字の1)

m1: Male Solo (男声独唱) (1は数字の1)

fm: Female & Male (男女デュエット/男女混声)

fp: Female Chorus (女声合唱)
mp: Male Chorus (男声合唱)
no: Instrumental (歌なし)

8) Composer 作曲者

原曲の作曲者氏名をアルファベットで入れる。
Given Name (名) Family Name (姓)の順で記述することとする。
名・姓の間を半角スペース " " で区切る。
Middle Name も入れて良い。
複数名記入するときは、半角スラッシュ "/" で区切る。
例: Taro Yamaha

9) Lyricist 作詞者

原曲に歌詞がある場合、その作詞者氏名。
フォーマットは作曲者と同じ。

10) Arranger 編曲者

原曲または楽曲データを編曲した人の氏名。
フォーマットは作曲者と同じ。

11) Performer 演奏者 / 歌唱者

原曲を演奏または歌唱している人の氏名やグループの名称。
フォーマットは作曲者と同じ。

12) Programmer 楽曲データ制作者

楽曲データを制作した人の氏名。
フォーマットは作曲者と同じ。

13) Keyword キーワード

「Appendix D 曲のキーワードについて」に示された英文字を用いる。
複数入力する時は、半角スラッシュ "/" で区切る。
例: Movie/Love Song/Tears

< XF Information Header -- Language Specific XF インフォメーションヘッダー (言語別) >

・情報項目の 1) と 2) 、及び各種の制御記号については、ASCII で記述する。

・以下、日本語による XF Information Header -- Language Specific について

情報項目

1) XF Information Header -- Language Specific -- ID XF インフォメーションヘッダー (言語別) ID

XF Information Header -- Language Specific であることを示す ID (4文字) "XFIn"

2) Language 言語情報

XF インフォメーションヘッダー (言語別) で使用される文字のコード体系を指定する情報。

歌詞に使用される文字コード体系を指定するものではない。歌詞の文字コード体系は XF 歌詞ヘッダーで指定する。

「Appendix A 文字コードについて」に示された記号を用いる。

3) Song Name 曲名

曲名の言語別表示。

アルファベットを使う場合は全角 (2バイト文字) で入れる。

検索のため、全角ひらがなによるよみを半角かっこ "(" ")" に括って併記する。

よみにカタカナは使用しない。

半角かぎかっこ "[" "]" で、ルビを併記できる。

ルビは、ルビをつける文字 1文字ずつに対応させること。

曲名を数行にわたって表示したいとき、改行したい場所に半角スラッシュ "/" を入れる。

例：それいけ！ Y [わい] マン / 元 [げん] 気 [き] いっぱい (それいけわいまん げんきい
ぱい)

表示：

```

                わい
    それいけ！ Y マン
    げんき
    元気いっぱい
  
```

処理系で曲名を表示する場合は、上記例のように制御記号を解釈すること。

4) Composer 作曲者

原曲の作曲者氏名。

姓と名の間は半角スペース " " で区切る。

複数記入するときは、半角スラッシュ "/" で区切る。

アルファベットを使う場合は全角で入れる。

検索のため、全角ひらがなによるよみを半角かっこ "(" ")" に括って併記できる。

よみにカタカナは使用しない。

半角かぎかっこ "[" "]" で、ルビを併記できる。

ルビは、ルビをつける文字 1文字ずつに対応させること。

複数記入するときは、それぞれに、よみがなを併記する。

例：曲作 太郎 (きょくづくり たろう) / 曲作 次郎 (きょくづくり じろう)

5) Lyricist 作詞者

原曲に歌詞がある場合、その作詞者氏名。
フォーマットは作曲者と同じ。

6) Arranger 編曲者

原曲または楽曲データを編曲した人の氏名。
フォーマットは作曲者と同じ。

7) Performer 演奏者 / 歌唱者

原曲を演奏または歌唱している人の氏名やグループの名称。
フォーマットは作曲者名と同じ。

8) Programmer 楽曲データ制作者

楽曲データを制作した人の氏名。
フォーマットは作曲者と同じ。

例：

曲名は「楽しい日曜日」、1994年9月28日に発表された日本の曲、
ジャンルはポップス、ビートはエイトビート、
楽曲データ中でメロディをとっているのはサククス、
ボーカルは女声ソロ、作曲者は山葉太郎、作詞者は浜松花子、編曲者はなし、
演奏者 / 歌唱者は中沢町子、楽曲データ制作者は豊岡次郎

X F インフォメーションヘッダー（共通）の例：

FF 01 len <XFhd:1994/09/28:JP:Pops:8Beat:65:f1:Taro Yamaha:Hanako Hamamatsu::
Machiko Nakazawa:Jiro Toyo'oka>

X F インフォメーションヘッダー（言語別） 日本語ヘッダーの例：

FF 01 len <XFln:JP:楽しい日曜日(たのしいにちようび):山葉 太郎(やまは たろう):
浜松 花子(はままつ はなこ)::中沢 町子(なかざわ まちこ):豊岡 次郎(とよおか じろう)>

3 . XF Karaoke Message X Fカラオケメッセージ

- ・カラオケ等のテロップ表示を目的にした専用のテロップシーケンスデータである。
- ・曲の進行に合わせた、歌詞テロップのワイプ機能を実現できる。
- ・カラオケメッセージは歌詞データと制御用のキューデータに大きく分けられる。
- ・カラオケメッセージは、次の3種類の方法で持つことができ、処理系で対応するようにする。
 - 1)トラックチャンク内に、メタイベントで記述。
 - 2)メタイベントの書式で、トラックチャンクの後に別チャンクで設定。
 チャンクタイプ：XFKM
 データ長指定部分：4byte
 <XFKM Event> = <delta-time> <Meta Event>
 - 3)上記2)のチャンクを別ファイルにして設定。
 ファイルの中身は、2)のチャンクそのもの。
 DOS ファイル名のエクステンション：.XKM
 Mac ファイルのファイルタイプ：XFKM
 複数あった場合は、上記の 3), 2), 1) の順に優先度が高いものとする。

<歌詞データ>

- ・楽曲の歌詞情報部分の仕様を規定するものであり、これにより歌詞カードやカラオケアプリケーションなどを作成するのに必要十分なデータを提供する。

歌詞

- ・データ形式は SMF 定義の歌詞メタイベント(Lyric Meta-Event) をそのまま用いることにする。
- ・使用する文字コードについては、「Appendix A 文字コードについて」を参照。
- ・また、使用する文字コードを、歌詞イベントに先立つ X F 歌詞ヘッダーの中で指定する。
 詳細については、1 .トラックチャンク冒頭の内容 参照。
- ・なお、歌詞イベントのタイミング情報はメロディーの対応する音符と同じ値であることが望ましいが、ワイプ/表示のタイミングが大幅にずれることがなければ、前後してもかまわない。

FF 05 len <Text>

制御記号

- ・歌詞データには種々の制御をおこなうための制御記号を含めることができる。
- ・制御記号は、ASCII (半角) を使用する。
- ・なお、制御記号そのものを歌詞などの表示として使用したい場合には半角バックslash "\" (JIS Roman では「円」記号 "¥") を使用したい制御記号の前に付ける。

FF 05 len <text>

1) "(" ")" よみがな

- かっこ "(" および ")" で囲まれた文字列は "(" の直前の一文字のよみがなを表す。
- よみがなは漢字表示のできない表示系において漢字表示の代用として歌詞表示する目的で使用する。
- 漢字によみがなをつけるときは、漢字一文字ずつに対応させること。
- 歌詞メタイベントの文字列中の "(" および ")" で囲まれた文字列は、その直前の一文字の上に (または下も可) 小さい文字で表示されるようにするのが望ましい。

表示系は、よみがなを表示してもしなくても良い。
 かっこ "(" および ")" で囲まれた文字列は対応する音符のタイミングに合わせて複数の
 歌詞メタイベントに分れていても良い。必ず ")" でよみがなを終了すること。

例：

データ

```
FF 05 06 待(ま)
FF 05 02 て
FF 05 02 ど
FF 05 06 暮(く)
FF 05 02 ら
FF 05 02 せ
FF 05 02 ど
```

表示出力

```
ま      く
待てど暮らせど
```

2) "[" "]" ルビ

かぎかっこ "[" および "]" で囲まれた文字列は同じ歌詞メタイベント内の "[" の直前の
 文字列のよみがなを表す。

歌詞メタイベントの文字列中の "[" および "]" で囲まれた文字列は、同じ歌詞メタイベ
 ント内の "[" の直前の文字列の上に（または下も可）小さい文字で表示されるようにする
 のが望ましい。

前述のよみがなの機能も兼ねる。

ルビは、よみがなと違って通常の読み方とはちがった読み方などに使うが、よみがなの代
 わりに使用してもよい。

表示系は、ルビを必ず表示しなければならない。

かぎかっこ "[" および "]" で囲まれた文字列は対応する音符のタイミングに合わせて
 複数の歌詞メタイベントに分れていても良い。必ず "]" でルビを終了すること。

例：

データ

```
FF 05 06 他[ひ]
FF 05 06 人[と]
FF 05 02 に
FF 05 02 は
FF 05 06 見(み)
FF 05 02 え
FF 05 02 ぬ
FF 05 06 亭[お]
FF 05 05 主[と]
FF 05 03 こ]
```

表示出力

```
ひと      おとこ
他人には見えぬ亭主
```

3) “^” 空白

スペース（空白コード）の代わりに用いられる。
 スペーシングの幅は表示系の自由である。

例：
 データ

```
FF 05 02 こ
FF 05 02 よ
FF 05 02 い
FF 05 03 は^
FF 05 05 月(つ
FF 05 03 き)
FF 05 02 も
```

表示出力
 こよいは 月も

半角スペース " " と全角スペース " " も空白として表示されること。
 その場合、各々のスペーシングの幅は処理系でのフォント指定に依存して良い。

4) “/” 改行

改行コードの代わりに用いられる。
 行を変えて表示をさせたい位置に入れる。

例：
 データ

```
FF 05 06 待(ま)
FF 05 02 て
FF 05 02 ど
FF 05 06 暮(く)
FF 05 02 ら
FF 05 02 せ
FF 05 03 ど/
FF 05 06 来(こ)
FF 05 02 ぬ
FF 05 02 人
FF 05 02 を
```

表示出力
 待てど暮らせど
 来ぬ人を

改行の直前の文字列に対応する音符の音長が長い場合は、キーオフのタイミングに改行を
 単独の歌詞メタイベントで入れることで、文字なめする場合の文字なめ終了タイミングを
 合わせられるようにするのが良い。

例：
 いうよ（「よ」の音長が長いとき）

データ

```

FF 05 02 い
FF 05 02 う
FF 05 02 よ
FF 05 01 /

```

5) “%” 副改行

一行内での文章の意味的な区切りをあらわす。
 低解像度の表示系でも自然な改行をおこなうために使用する。
 最低限の動作を保証するため日本語では各副改行間は少なくとも
 2 バイトコードで 12 文字以下に区切るべきである。

6) “<” 改頁

一行目に表示させたい文字列の先頭に付加して、新しいページの先頭から歌詞を表示させる。
 “<”に続く文字列の表示を表示系は 1 行目に表示させるようにする。

例：

データ

```

FF 05 06 <宵[よ
FF 05 03 い]
FF 05 05 待[ま
FF 05 03 ち]
FF 05 05 草[ぐ
FF 05 02 さ
FF 05 03 の/
FF 05 06 待(ま)
FF 05 02 て
FF 05 02 ど
FF 05 06 暮(<)
FF 05 02 ら
FF 05 02 せ
FF 05 03 ど/
FF 05 06 来(こ)
FF 05 02 ぬ
FF 05 02 人
FF 05 02 を

```

表示出力

```

よい まち ぐさ
宵 待 草 の
ま く
待てど暮らせど
こ
来ぬ人を

```

7) “>” タブ

水平タブを表す。
タブによるスペーシングの幅は表示系の自由である。
タブは行の先頭のみに入力可とする。

例
データ

```
FF 05 06 <宵[よ  
FF 05 02 い  
FF 05 05 待[ま  
FF 05 03 ち]  
FF 05 05 草[ぐ  
FF 05 02 さ  
FF 05 03 の/  
FF 05 03 >や  
FF 05 02 る  
FF 05 02 せ  
FF 05 02 な  
FF 05 02 さ
```

表示出力

```
よい まち ぐさ  
宵 待 草 の  
やるせなさ
```

8) “¥” バックスラッシュ(JIS Roman では「円」記号 “¥”)

“\” バックスラッシュは、そのあとに続く ASCII の 1 バイトの文字で制御記号の機能を失
わせ表示用文字にする。
制御記号そのものを歌詞などの表示として使用したい場合使用したい制御記号の前に付け
る。

<キューデータ>

- ・以下に挙げるテキストデータは処理系に種々の機能を付加する。
- ・SMF 定義のメタイベント「キュー・ポイント」(Cue Point) を用いる。
- ・ASCII で記述する。(アルファベット表記となる)

FF 07 len <Text>

- 1) XF Lyrics Header XF 歌詞ヘッダー
以降の歌詞メタイベントについての情報
詳細は、1.トラックチャンク冒頭の内容 参照。

例：

FF 07 len <\$Lyrc:4,12:240:JP>

- 2) Vocal Part Cue パートキュー
歌詞のパート別、種類を表す。
アンパサンド "&" で始める。

男性	&m
女性	&f
コーラス	&c
独唱	&s
混声	&p
セリフ	&w
歌詞以外	&x

「歌詞以外」を示すパートキューは、歌詞以外のメッセージを表示するために用いる。「間奏」や「イントロ」を表示させる目的で、「歌詞以外」を示すパートキューに続けて歌詞イベントで「間奏」「イントロ」などと記述する。
処理系は、「セリフ」「歌詞以外」のキューイベントがあった場合は、そのタイミング以降、「セリフ」「歌詞以外」以外のキューイベントがあるまでは、歌詞メタイベントの文字なめ処理を行わないようにする。

例：

間奏

FF 07 len <&x>

FF 05 len <間奏>

4 . Lyric Meta-Event (歌詞メタイベント)

The MIDI Manufacturers Association(MMA)及び、Association of Musical Electronics Industry (AMEI)のSMF Language and Display Extensions並びにSMF Lyric Meta Event Definition仕様と互換性がある。

< Syllable 音節 >

- ・ SMF 定義の Meta Event - Lyric (歌詞) を用いる。
- ・ 各音節 (syllable) を、それぞれ、1つの Meta Event - Lyric とする。
- ・ 語の最後にあたる音節には、半角スペース " " を追加する。
- ・ 句読点が付く最後の音節には、句読点の後に半角スペース " " を追加する。

FF 05 len <text>

例： FF 05 5 <This >
 FF 05 3 <is >
 FF 05 3 <an >
 FF 05 2 <ex>
 FF 05 2 <am>
 FF 05 5 <ple. >

< Carriage Return Event キャリッジリターンイベント >

- ・ 歌詞表示を画面等にする場合に、行末を示す特別なイベント。
- ・ このイベントで、歌詞表示は行を改める。

FF 05 01 0D

< Line Feed Event ラインフィードイベント >

- ・ 歌詞表示の Paragraph (段落) の最後を示す特別なイベント。
- ・ このイベントで、次の Paragraph (段落) を表示するために、画面をクリアする。

FF 05 01 0A

< 制御記号 >

- ・ 歌詞データには種々の制御をおこなうための制御記号を含めることができる。
- ・ 制御記号は、ASCII (半角) を使用する。
- ・ Carriage Return Event, Line Feed Event が入力できない場合に "\r" "\n" を使用する。
- ・ なお、制御記号そのものを歌詞などの表示として使用したい場合には半角バックスラッシュ "\" (JIS Roman では「円」記号 "¥") を使用したい制御記号の前に付ける。

\r Carriage Return
 \n New Line(Line Feed)
 \t Horizon Tab
 \\ "\" を表示

<"[" "]" ルビ>

半角かぎカッコ "[" および "]" で囲まれた文字列は同じ歌詞メタイベント内の半角 "[" の直前の文字列のよみがなを表す。

歌詞メタイベントの文字列中の "[" および "]" で囲まれた文字列は、同じ歌詞メタイベント内の "[" の直前の文字列の上に（または下も可）小さい文字で表示されるようにするのが望ましい。

例：

データ

```
FF 05 06 他[ひ]
FF 05 06 人[と]
FF 05 02 に
FF 05 02 は
FF 05 06 見(み)
FF 05 02 え
FF 05 02 ぬ
FF 05 06 亭[お]
FF 05 05 主[と]
FF 05 03 こ]
```

表示出力

```
ひと み おとこ
他人には見えぬ亭主
```

同じ歌詞メタイベント内の '[' の直前に文字列がない場合は、その 1 つ前の歌詞メタイベントの文字列のルビとして扱う。

(例)

データ

```
FF 05 04 一瞬
FF 05 12 [いっしゅん]
```

表示出力：

```
いっしゅん
一瞬
```

<“ ”>タグ

1. 文字コード情報 (Character Code Set)

- ・文字コードを示唆するために用いる。
- ・必ず Lyric Meta Event の先頭に記述されねばならない。
- ・この情報は次の文字コード情報まで有効である。
- ・{@<文字コード>}の用法を用いる。
- ・文字コードの記述がない場合は歌詞の文字コードを {@LATIN}として扱う。
- ・文字コード情報に記述された文字コードを扱えない場合は、扱える文字コード情報が来るまで表示をしなくてもよい。
- ・他のキーワードは他のキャラクターセットの為のリザーブとする。

一般的なヨーロッパ言語のための ANSI 文字コードセットを表す場合。

{@LATIN},{@Latin},{@latin} ; デフォルト

日本語のための MS-Kanji (Shift-JIS)文字コードセットを表す場合。

{@JP},{@Jp},{@jp}

2. 曲情報 (Song Information)

- ・曲情報タグに関する情報を表示させたい場合に用いる。
 - ・各アイテムのキーワードは '#' と '=' ではさまれる形で記述される。
 - ・全ての '{' は必ず各 Lyric Meta Event の先頭に記述しなければならない。
 - ・{# <アイテム> = <内容>}の用法を用いる。
- ・曲名、原曲名などを表示したいときに用いる場合。
{#TITLE=} または {#Title=} または {#title=}の記述をする。
(例) {#Title=楽しい日曜日}
 - ・作曲者名などを表示したいときに用いる場合。
{#COMPOSER=} または {#Composer=} または r {#composer=}の記述をする。
(例) {#COMPOSER=山葉太郎}
 - ・作詞家名などを表示したいときに用いる場合。
{#LYRICS=} または {#Lyrics=} または {#lyrics=}の記述をする。
(例) {#LYRICS=浜松花子}
 - ・歌手名、演奏者名などを表示したいときに用いる。
{#ARTIST=} または {#Artist=} または {#artist=}の記述をする。
(例) {#Artist=中沢町子}
 - ・尚、タグの境界または完結を明示的に示すために Null Tag 用いる。
{#}の記述をする。
(例) {#Title=楽しい日曜日}
{#Composer=山葉太郎}
{#Lyrics=浜松花子}
{#Artist=中沢町子}
{#}

5 . Style Message スタイルメッセージ

- ・コード/スタイル等を規定する。
- ・Sequencer-Specific Meta-Event の形式で設定する。
- ・Style Message 機能を追加した X F フォーマットのバージョンを 2.0 とする。

[Key Signature (調性情報)]

- ・調性情報については、SMF の Key Signature メタイベントを使用する。

[Chord Name (コード名)]

- ・いわゆるコードを指定する。

FF 7F 07 43 7B 01 cr ct bn bt Chord Name

cr コードルート 0fffnnnn

fff: 変位記号, nnnn: ノート

0000nnnn	0x	bbb (フラット3つ)
0001nnnn	1x	bb (フラット2つ)
0010nnnn	2x	b (フラット1つ)
0011nnnn	3x	natural (ナチュラル)
0100nnnn	4x	# (シャープ1つ)
0101nnnn	5x	## (シャープ2つ)
0110nnnn	6x	### (シャープ3つ)

0fff0000	x0	reserved (使用しない)
0fff0001	x1	C
0fff0010	x2	D
0fff0011	x3	E
0fff0100	x4	F
0fff0101	x5	G
0fff0110	x6	A
0fff0111	x7	B

ct コードタイプ 0 - 34

00000000	00	0	Maj
00000001	01	1	Maj6
00000010	02	2	Maj7
00000011	03	3	Maj7(#11)
00000100	04	4	Maj(9)
00000101	05	5	Maj7(9)
00000110	06	6	Maj6(9)
00000111	07	7	aug
00001000	08	8	min
00001001	09	9	min6
00001010	0A	10	min7

00001011	0B	11	min7b5
00001100	0C	12	min(9)
00001101	0D	13	min7(9)
00001110	0E	14	min7(11)
00001111	0F	15	minMaj7
00010000	10	16	minMaj7(9)
00010001	11	17	dim
00010010	12	18	dim7
00010011	13	19	7th
00010100	14	20	7sus4
00010101	15	21	7b5
00010110	16	22	7(9)
00010111	17	23	7(#11)
00011000	18	24	7(13)
00011001	19	25	7(b9)
00011010	1A	26	7(b13)
00011011	1B	27	7(#9)
00011100	1C	28	Maj7aug
00011101	1D	29	7aug
00011110	1E	30	1+8
00011111	1F	31	1+5
00100000	20	32	sus4
00100001	21	33	1+2+5
00100010	22	34	cc

bn オンベースノート Same as Chord root,
127:No bass chord

bt ベースコード Same as Chord type
127:No bass chord

[Rehearsal Mark (リハーサルマーク)]

FF 7F 04 43 7B 02 rr Rehearsal Mark

rr Rehearsal Mark 0yyyxxxx

下位 4bit(xxxx)

0: Intro

1: Ending

2: Fill-in

3: A

4: B

:

15: M

上位 3bit(yyy)

0-7:それぞれのバリエーション

1:いわゆる ' A'、B' 等

2:いわゆる '' A''、B'' 等

:

- ・曲のセクションを明示する為、区切りを明示し、自動伴奏等に応用する事ができる。
- ・小節頭のタイミングの先頭のタイミングにいれること。
- ・一部のリハーサルマークが無い曲も有り得る。
- ・リハーサルマーク間の小節数は任意。

[Phrase mark (フレーズマーク)]

FF 7F 05 43 7B 03 xx yy Phrase mark

xx Phrase mark 0hfccccc

bit6(h)

0:Right, 1:Left 右手/左手

bit5(f)

0:CH有効, 1:CH無効 チャンネル無効フラグ

bit4-0のチャンネル情報の有効/無効

全CH共通のフレーズの場合は1

bit4-0(ccccc)

CH(0:1ch~31:32ch) フレーズマークが有効なチャンネル情報

yy Phrase mark level 1-127

0: Reserved

1: レベル 1

2: レベル 2

:

8: レベル 8

:

- ・繰り返し練習等のための区切りとして使用する。
- ・一般的にはレベル 8 を使用する。

フレーズマークレベルのガイドライン

レベル 1 (ガイドフレーズレベル)

1. このレベルは、楽曲を練習する際の、一番短い練習単位 (繰り返し練習等の為) を規定する。
2. 1 フレーズ中のノート数は、数音 ~ 10 数音を基本とし、最大でも 32 音以内とする。
3. 1~2 小節程度のモチーフを基本とするが、差し支えなければ、より短い練習フレーズに区切ること。
4. 本フレーズマークを入れるトラックの、最初のキーオンより前、可能ならタイミング 0 に、本フレーズマークを一つ入れる事。
5. それ以降は、短い練習単位毎に、本フレーズマークを入れて行き、トラック最後のキーオフ後にも、本フレーズマークを一つ入れる事。
6. レベル 1 は、レベル 8 に含まれる事。

レベル 2 (モチーフ区切り)

1. 奏法上の音型として、その最小単位を区切る必要がある場合に使用する。

2. ピアノ曲等に付けられるフレーズ・スラーに近い。
3. 演奏技術上の要素を的確に抽出する事が、区切る目的である。
4. チャンネル別区切りである。
5. レベル3による区切りを超えない。

レベル3～7（練習区切り）

1. 練習時の区間を示すための区切り。
2. 区間の長さは任意（通常はレベル3が4小節、レベル4が8小節程度である）。
3. チャンネル別区切りとしてもよい。
4. 上位レベルの区切りを超えない。
5. 下位のレベルから使用し、全てのレベル設定をする必要はない。

レベル8（段落区切り）

1. 全トラック再生された時に不自然さがないように、音楽的な段落で区切る。
2. 流行歌等の単純形式ではAメロ、Bメロ等の区切りに一致する。
3. 全チャンネル用区切りである。
4. レベル9による区切りを超えない。

レベル9（コーラス区切り）

1. イントロ、1コーラス、2コーラス、エンディング、等の大きな区切り。
2. 有節形式でない場合は、提示部、展開部、等の区切りに該当する。
3. セット・アップ部分等冒頭の無音部を経過後最初の音にはこの区切りを入れる。
4. 全チャンネル用区切りである。

【注】～階層の包含関係について

各レベルとも、チャンネル指定部分が一致する限りに於いて、上位階層は下位階層を含意するものとする（従ってレベル9は必ずレベル8を包含する）。

[Max Level8 Phrase mark（最大レベル8フレーズマーク）]

FF 7F 04 43 7B 04 xx Max Phrase mark

xx 最大フレーズ数 1-127

- ・ 入力したレベル8のフレーズマークの数から1引いた数値を入れる。
- ・ トラックチャンク冒頭、delta-time=（1:1:0のタイミング）に入れる。

[Guide Track Flag（ガイドトラックフラグ）]

- ・ このイベントは、処理系でメロディが1chだけに入っているか、1ch（右手）、2ch（左手）両方に分かれているかを判別するのに有効である。
- ・ このイベントでメロディが入っているchを設定できる。

FF 7F 05 43 7B 0C rr ll Guide Track Flag

rr Melody Track 1 Ch (右手用) 0:なし,1:1ch..16:16ch
 ll Melody Track 2 Ch (左手用) 0:なし,1:1ch..16:16ch

- ・ rr=01H, ll=02H を基本とする。
- ・ このイベントは必ずタイミング 0 に入れる。
- ・ このイベントがない場合には、メロディートラックは 1 c h だけと判断する。

[Information flag for Gt (ギターインフォメーションフラグ)]

- ・ このイベントは、処理系でギターパートの弦情報、フレット位置を計算する為に用いる。
- ・ DataLength は、可変長とし、弦の数で変わる。

FF 7F len 43 7B 10 xx pp kk aa bb cc dd ee ff

xx 対象チャンネル 00fcccc

f 0: bit4-0 の対象チャンネル情報は有効
 1: 全 c h 共通 (bit4-0 の対象チャンネル情報は無効)

cccc 0 - 31: 1ch ~ 32ch

1 弦のチャンネルを示す

このチャンネル以降の弦の数分をギターパートに指定する。

(10ch はとばす)

11ch (0x0A) を基本とする

pp 対象パート

0: ギター

1: ベース

2: ウクレレ

他: Reserve

kk カポ位置情報 0 - 23

aa 1 弦の Note No. 0-127

bb 2 弦の Note No. 0-127

cc 3 弦の Note No. 0-127

dd 4 弦の Note No. 0-127

ee 5 弦の Note No. 0-127

ff 6 弦の Note No. 0-127

データはタイミング 0 に入れる。

[Chord Voicing for Gt(ギター用コードヴォイシング)]

- ・ このイベントはコードの押さえ方と演奏する弦を指定するために用いる。
Information flag for Gt と組み合わせて使用する。
- ・ DataLength は、可変長とし、弦の数で変わる。

FF 7F len 43 7B 12 xx aa AA bb BB cc CC ...

xx 対象チャンネル 00fcccc

f 0: bit4-0 の対象チャンネル情報は有効

1: 全 c h 共通 (bit4-0 の対象チャンネル情報は無効)

cccc 対象チャンネル

Guitar Information Frag で指定したチャンネルを指定する。
 (2 本以上のギターデータがある場合 =Information flag for
 Gt が 2 つ以上ある場合に必要となる)

aa 1 弦のフレット位置 0yyyyyyy
 0 - 24 0: 開放弦
 127: 弾かない弦

AA 1 弦の運指 0000fff
 0: (指番号なし) 押さえない
 1 - 5: 指番号 1: 親指

bb 2 弦のフレット位置 0yyyyyyy
 0 - 24 0: 開放弦
 127: 弾かない弦

BB 2 弦の運指 0000fff
 0: (指番号なし) 押さえない
 1 - 5: 指番号 1: 親指

[Fingering Number (運指番号)]

FF 7F 06 43 7B 05 cc nn ff

cc 対象音の CH 0xcccccc
 上位 2 bit(xx) チャンネル指定方法
 00: 単チャンネル指定方式
 他: reserved
 下位 5 bit(ccccc) 対象音のチャンネル情報
 0 - 31: 1ch - 32ch

nn 対象音名 0-127

ff 運指番号 0yyyzfff
 下位 3 bit(fff)
 0: (指番号なし) 押さえない
 Chord voicing で開放弦になるような場合の指番号
 1 - 5: 指番号 1: 親指
 6: ピック

中位 1 bit(z)
 0: Right(右手), 1: Left(左手)

上位 3 bit(yyy)
 0: 通常鍵盤楽器運指
 1: ギター運指
 2: アップストローク
 3: ダウンストローク
 他: reserved

- ・現状は、鍵盤楽器で弾く時の運指番号を規定する。
- ・特殊奏法情報に関しては未規定 (reserve で対応)
 鍵盤楽器以外の情報に関しては未規定 (reserve で対応)

Appendix A 文字コードについて

X F インフォメーションヘッダーや歌詞等で用いられる文字コードを指定する際に用いる記号などについては、以下の表に従うものとする。

記号：X F インフォメーションヘッダー・X F 歌詞ヘッダーなどの情報項目として、文字変換コードを指定する際に用いる記号。

文字変換コード：「記号」によって示される文字変換コード。

対応言語：当該文字変換コードを用いて表記できる言語。

記号	文字コード	対応言語
L1	Latin 1 (ASCII(7bit) + ISO 8859-1)	英語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語 など
JP	Shift-JIS	日本語
KR	ISO-2022-KR (ASCII + KS C 5601-1992 incl. Johab)	韓国語
HZ	HZ-GB-2312	中国語 (Simplified Chinese)
B5	Big Five	中国語 (Traditional Chinese) (台湾語などを含む)
CY	KO18-R	ロシア語など
VN	TCVN-5773:1993	ベトナム語

Appendix B 制作地記号について

XFインフォメーションヘッダー（共通）の情報項目「制作地」の記述には、以下に示す2文字の記号を用いるものとする。

AD:Andorra, AE:United Arab Emirates, AF:Afghanistan, AG:Antigua and Barbuda,
AI:Anguilla, AL:Albania,
AM:Armenia, AN:Netherlands Antilles, AO:Angola, AQ:Antarctica, AR Argentina,
AS American Samoa,
AT:Austria, AU:Australia, AW:Aruba, AZ:Azerbaijan, BA:Bosnia-Herzegovina,
BB:Barbados, BD:Bangladesh, BE:Belgium, BF:Burkina Faso, BG:Bulgaria,
BH:Bahrain, BI:Burundi, BJ:Benin, BM:Bermuda,
BN:Brunei Darussalam, BO:Bolivia, BR:Brazil, BS:Bahamas, BT:Bhutan,
BV:Bouvet Island, BW:Botswana,
BY:Belarus, BZ:Belize, CA:Canada, CC:Cocos (Keeling) Islands, CF:Central
African Republic, CG:Congo,
CH:Switzerland, CI:Cote d'Ivoire, CK:Cook Islands, CL:Chile, CM:Cameroon,
CN:China, CO:Colombia,
CR:Costa Rica, CU:Cuba, CV:Cape Verde, CX:Christmas Island, CY:Cyprus,
CZ:Czech Republic, DE:Germany,
DJ:Djibouti, DK:Denmark, DM:Dominica, DO:Dominican Republic, DZ:Algeria,
EC:Ecuador, EE:Estonia,
EG:Egypt, EH:Western Sahara, ES:Spain, ET:Ethiopia, FI:Finland, FJ:Fiji,
FK:Falkland Islands, FM:Micronesia,
FO:Faroe Islands, FR:France, GA:Gabon, GD:Grenada, GE:Georgia, GF:French
Guiana, GH:Ghana, GI:Gibraltar,
GL:Greenland, GM:Gambia, GN:Guinea, GP:Guadeloupe, GQ:Equatorial Guinea,
GR:Greece, GT:Guatemala, GU:Guam,
GW:Guinea-Bissau, GY:Guyana, HK:Hong Kong, HM:Heard and McDonald Islands,
HN:Honduras, HR:Croatia,
HT:Haiti, HU:Hungary, ID:Indonesia, IE:Ireland, IL:Israel, IN:India,
IO:British Indian Ocean Territory, IQ:Iraq,
IR:Iran, IS:Iceland, IT:Italy, JM:Jamaica, JO:Jordan, JP:Japan, KE:Kenya,
KG:Kyrgyzstan, KH:Cambodia,
KI:Kiribati, KM:Comoros, KN:Saint Kitts and Nevis, KR:Korea, KW:Kuwait,
KY:Cayman Islands, KZ:Kazakhstan,
LA:Lao People's Democratic Republic, LB:Lebanon, LC:Saint Lucia,
LI:Liechtenstein, LK:Sri Lanka, LR:Liberia,
LS:Lesotho, LT:Lithuania, LU:Luxembourg, LV:Latvia, LY:Libyan Arab
Jamahiriya,
MA:Morocco, MC:Monaco,
MD:Moldova, MG:Madagascar, MH:Marshall Islands, ML:Mali, MM:Myanmar,
MN:Mongolia, MO:Macau,
MP:Northern Mariana Islands, MQ:Martinique, MR:Mauritania, MS:Montserrat,
MT:Malta, MU:Mauritius,
MV:Maldives, MW:Malawi, MX:Mexico, MY:Malasia, MZ:Mozambique, NA:Namibia,
NC:New Caledonia, NE:Niger,
NF:Norfolk Island, NG:Nigeria, NI:Nicaragua, NL:Netherlands, NO:Norway,
NP:Nepal, NR:Nauru,
NT:Neutral Zone (between Saudi Arabia & Iraq), NU:Niue, NZ:New Zealand, OM:Oman,
PA:Panama, PE:Peru,

PF:French Polynesia, PG:Papua New Guinea, PH:Philippines, PK:Pakistan,
PL:Poland,
PM:Saint Pierre and Miquelon, PN:Pitcairn, PR:Puerto Rico, PT:Portugal,
PW:Palau, PY:Paraguay, QA:Qatar,
RE:Re'union, RO:Romania, RU:Russian Federation, RW:Rwanda, SA:Saudi Arabia,
SB:Solomon Islands,
SC:Seychelles, SD:Sudan, SE:Sweden, SG:Singapore, SH:Saint Helena,
SI:Slovenia,
SJ:Svalbard and Jan Mayen islands, SK:Slovakia, SL:Sierra Leone, SM:San Marino,
SN:Senegal, SO:Somalia,
SR:Suriname, ST:Sao Tome and Principe, SU:Former Soviet Union, SV:El Salvador,
SY:Syria, SZ:Swaziland,
TC:Turks and Caicos Islands, TD:Chad, TF:French Southern Territories, TG:Togo,
TH:Thailand, TJ:Tajikistan,
TK:Tokelau, TM:Turkmenistan, TN:Tunisia, TO:Tonga, TP:East Timor, TR:Turkey,
TT:Trinidad and Tobago,
TV:Tuvalu, TW:Taiwan, TZ:Tanzania, UA:Ukraine, UG:Uganda, UK:United Kingdom,
UM:United States Minor Outlying Islands, US:United States, UY:Uruguay,
UZ:Uzbekistan, VA:Vatican City State,
VC:Saint Vincent and the Grenadines, VE:Venezuela, VG:Virgin Islands (British),
VI:Virgin Islands (U.S.),
VN:Vietnam, VU:Vanuatu, WF:Wallis & Futuna Islands, WS:Samoa, YE:Yemen,
YU:Yugoslavia, ZA:South Africa,
ZM:Zambia, ZR:Zaire, ZW:Zimbabwe

Appendix C 曲のジャンルについて

XFインフォメーションヘッダー（共通）の情報項目「曲のジャンル(Category)」の記述には、以下に示す英文字を用いるものとする。

Ballroom	社交ダンス音楽
Blues	ブルース
Bossa-Samba	ボサノバ、サンバ
Children's Song	子ども向け音楽、童謡、
Christmas-Hymn	クリスマス向け音楽、聖歌
Classical	クラシック音楽
C&W	カントリー、ウェスタン
Dance	ダンス音楽、ディスコ
Easy Listening	イージーリスニング
Folk	フォークソング、民謡
Jazz-Fusion	ジャズ、フュージョン
J.Enka	日本の演歌
J.Folk-GS	日本のフォークソング、グループサウンズ
J.Pop	日本のポップス
J.Kayoukyoku	日本の歌謡曲
J.Minyou	日本の民謡
Latin	ラテン音楽
March	マーチ
NewAge	ニューエイジミュージック
Reggae	レゲエ
Rock	ロック
Rock'n Roll-R&B	ロックンロール、リズム&ブルース
Pops	ポップス
Soul-Funk	ソウルミュージック、ファンク
Soundtrack	映画音楽
Standard	スタンダードナンバー
Techno	テクノ
World	ワールドミュージック、民謡
Others	その他

Appendix D 曲のキーワードについて

X F インフォメーションヘッダー(共通)の情報項目「曲のキーワード(Keyword)」の記述には、以下に示す英文字を用いるものとする。

Movie	映画
TV	テレビ
Dramatic	ドラマ的
Love song	ラブソング
Old Familiar Melody	ナツメロ
Contemporary	コンテンポラリー
Ballad	バラード
Calm	穏やか、のどか
Rhythmical	軽快、リズムカル
Cheerful	陽気
Joy	喜び
Humorous	ユーモラス
Sad	ほろ苦い、悲しい
Scary	不安、不吉
Horror	ホラー
Dangerous	危険
High-spirited	意気を高める
Grand	壮大
Epic	勇壮
Passionate	情熱的
Intense	激しい
Surprise	驚き
Cool	クール
Serious	シリアス
Good mood	ムード
Mysterious	神秘的
Ethnic	民族的
Friends	友達
Love	恋
Wedding	結婚
Parting	別れ
Lost Love	失恋
One-sided Love	片思い
Tears	涙
Liquor	酒
Dream	夢
Natural	自然
Sea	海
Sky	空
Spring	春
Summer	夏
Autumn	秋
Winter	冬

Snow	雪
Rain	雨
Christmas	クリスマス